



メールマガジン
全部協プライムニュース

<https://www.zenbukyo.or.jp/>

全日本自動車部品卸商協同組合

2025年1月号

このメールは、組合員、賛助会員、及び配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

※このメルマガは目次に記載された順に記事が掲載されております。記事本文につきましては下方にスクロールしてお読みください。

CONTENTS

1. 令和7年（2025年）理事長年頭所感

2. 全部協活動報告

- 1) 「第27回正副理事長会議」を開催

3. 支部・ブロック協議会活動報告

- 1) 福岡県自動車部品商組合が理事会開催
- 2) 京都府自動車部品商組合が新春懇談会

4. 自動車業界のニュース

- 1) 日産自動車(株)、本田技研工業(株)が経営統合に向けた検討を開始
- 2) 「東京オートサロン2025」に約25万人来場
- 3) SPK(株)が(株)ブリッツを子会社化
- 4) 2024年の国内新車販売台数は442万台
- 5) 日整連・整商連が新春懇親会開催
- 6) 日本自動車リサイクル部品協議会代表理事に川島準一郎氏
- 7) 全自用工、ケミカル工業会が合同賀詞交歓会
- 8) 「第22回国際オートアフターマーケットEXPO2025」2月26日から

5. 統計情報

自動車販売統計

整備工場統計

6. 事務局からのお知らせ

- 1) 全部協オンラインセミナー第8弾を実施します
- 2) 「Zen-bukyoToolモール」2月のおすすめ商品のご紹介

- 3) 無期転換ルールに係るハンドブックのご案内
- 4) 代表者等に変更のあった場合のお願い
- 5) 部工会「事業継承セミナー」のご案内
- 6) (株)ブロードリーフのクラウドサービス利用約款に係る覚書について
- 7) ワイパーリフィール価格改定のお知らせ
- 8) 創立10周年記念動画を全部協ホームページから閲覧できます
- 9) 日本フィルターエレメント工業会とエアフィルター販売促進で協力しています
- 10) Web互換品番検索システム Google Chrome版のご案内

7. 組合員異動報告

8. 全部協会議・活動日程

9. メルマガ配信アドレス登録のお願い

10. 付録

- 1) 「Zen-bukyo Toolモール」利用のQ&A
- 2) メルマガ添付版：デッドストック部品運用ガイドライン
- 3) リパーツダイレクトの広告
- 4) その他の広告リンク
 - ・ショーワグローブ株式会社

1. 令和7年（2025年）理事長年頭所感

全日本自動車部品卸商協同組合

理事長 森川 等

あけましておめでとうございます。皆様方におかれましては穏やかな新春を迎えられていることとお慶び申し上げます。

全部協は昨年、コロナ禍の影響で延期しておりました創立10周年記念事業の一環として記念動画を作成し、ホームページ上に掲載いたしました。次の10年、15年を見据え気持ちも新たに事業活動に取り組んでおります。



昨年を振り返りますと、元日から能登半島地震が起こり大変な年明けとなりました。各地で台風の影響による集中豪雨などの自然災害も多く発生いたしました。この他にも、物流の2024年問題をはじめ、収束の兆しが見えないロシア・ウクライナ戦争とその影響によるエネルギー資源価格の高騰や国際紛争、いつ解消するかわからない人材不足、さらに賃金上昇とインフレといった国内外の諸問題に加え、自動車業界においては自動車メーカーの認証不正問題と私たちを取り巻く様々なことがビジネス環境に大きく影響を及ぼした1年となりました。

た。

私たちの顧客である自動車整備業においては、2020年4月から施行した「自動車特定整備制度」の経過措置が終了し昨年10月から本格的に特定整備がスタートしました。また、10月には2023年からプレ検査が始まっていた「OBD検査（OBD車検）」が本格的にスタートしました。

特定整備制度やOBD検査義務化の背景には、自動車の電子制御技術が進み、電子制御装置を搭載した車両が増えていることが挙げられます。今や、自動ブレーキや駐車支援システムなどは日常的に利用されていますが、従来の検査では仮に電子制御装置に異常があっても、車検に合格してしまいます。電子制御装置は、OBDの情報を解析できないと不具合箇所を絞り込むことが困難です。スキャンツールなしで電子制御装置の異常を検知することは熟練の整備士でも難しく、自動車に搭載されている警告ランプが作動しない限り、不具合の判別はできないとされています。簡単に言えば整備士には、スキャンツールを活用したより高度な故障解析能力が求められているのです。

自動車は機械制御から電子制御に変わってきていますが、近年はさらに電子制御装置の高度化・複雑化が急速に進んでいるため、整備士の方は常に新たな知識を習得しなければならなくなっています。

このようなことから、私たち部品商は、整備業のデジタル化、技術革新と業務効率化をサポートし、顧客である整備工場の皆様に必要な知識を提供すると同時に問題解決のために協力していくことが最も重要な役割だと考えております。

2025年から2030年にかけて、自動車業界は今以上の技術革新と市場変化により、劇的な変化を遂げることが予想されています。この期間に、どれだけEVが普及し、さらには自動運転技術の実用化が進むかで未来が変わってくると言われています。また、都市部におけるモビリティサービスの需要増加により新しいビジネスモデルが誕生するともいわれており、このような変化は自動車業界の構造自体を変え、新たな市場リーダーの登場もあり得るのではないのでしょうか。

全部協は、持続可能性、技術革新、顧客ニーズの変化に焦点を当てています。今後進展するであろうEV化、自動運転技術、デジタル化は私たちの未来を展望する重要な要素です。新しいビジネスモデルを開発することで、競争力を維持し、市場の変化に対応する必要があると考えています。また、持続可能性に対する意識の高まりに応じ得るために、環境に優しい商品とサービスの提供が求められていくと考えています。

スピードを上げて次々と押し寄せてくる自動車業界の変化の中、取り組むべき課題は山積んでいます。私たち全部協は自動車アフターマーケットの発展のためにより一層尽力してまいります。

最後になりますが、皆様方のさらなるご発展をご祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いたします。

2. 全部協活動報告

※各委員会・会議の詳細は、全部協ホームページの組合員ルームに掲載される議事録をご確認ください。

1) 「第27回正副理事長会議」を開催

全部協は1月15日、「第27回正副理事長会議」を開催しました。会議では、団体定期保険の加入勧奨、次年度の予算編成方針、全部協ブロック割および総代定数の見直し等について協議しました。また令和7年度の会議等スケジュール、地方理事会日程等について確認しました。

3. 支部・ブロック協議会活動報告

1) 福岡県自動車部品商組合が理事会開催

福岡県自動車部品商組合（福部商）は12月6日、令和6年度第3回理事会を福岡県大牟田市で開催しました。理事会では、森部義孝会長（飯塚パーツ(株)）による全部協および全九部の活動報告が行われたほか、各支部長から支部状況報告等が行われました。

2) 京都府自動車部品商組合が新春懇談会を開催

京都府自動車部品商組合は1月11日、京都市東山区のハイアットリージェンシー京都で「令和7年新春懇談会」を開催し、組合員11名のほか各メーカー販社から8名が出席し懇親を深めました。

井上雅文理事長（(株)大黒商会）は新年の挨拶の中で、「今年は身の回りでいろいろな



事が変わる。われわれもコミュニケーション能力を磨き変化に対処しなければならない。そのうえで組合の存在は情報を共有する上で大切だ」と、部品商組合の重要性を改めて訴えました。

また、トヨタモビリティパーツ（株）京都支社の西村拓也支社長、日産部品近畿販売（株）の小貫俊郎社長、(株)ホンダパーツ関西の寺原次郎社長がそれぞれ挨拶しました。

（上）挨拶する井上雅文理事長

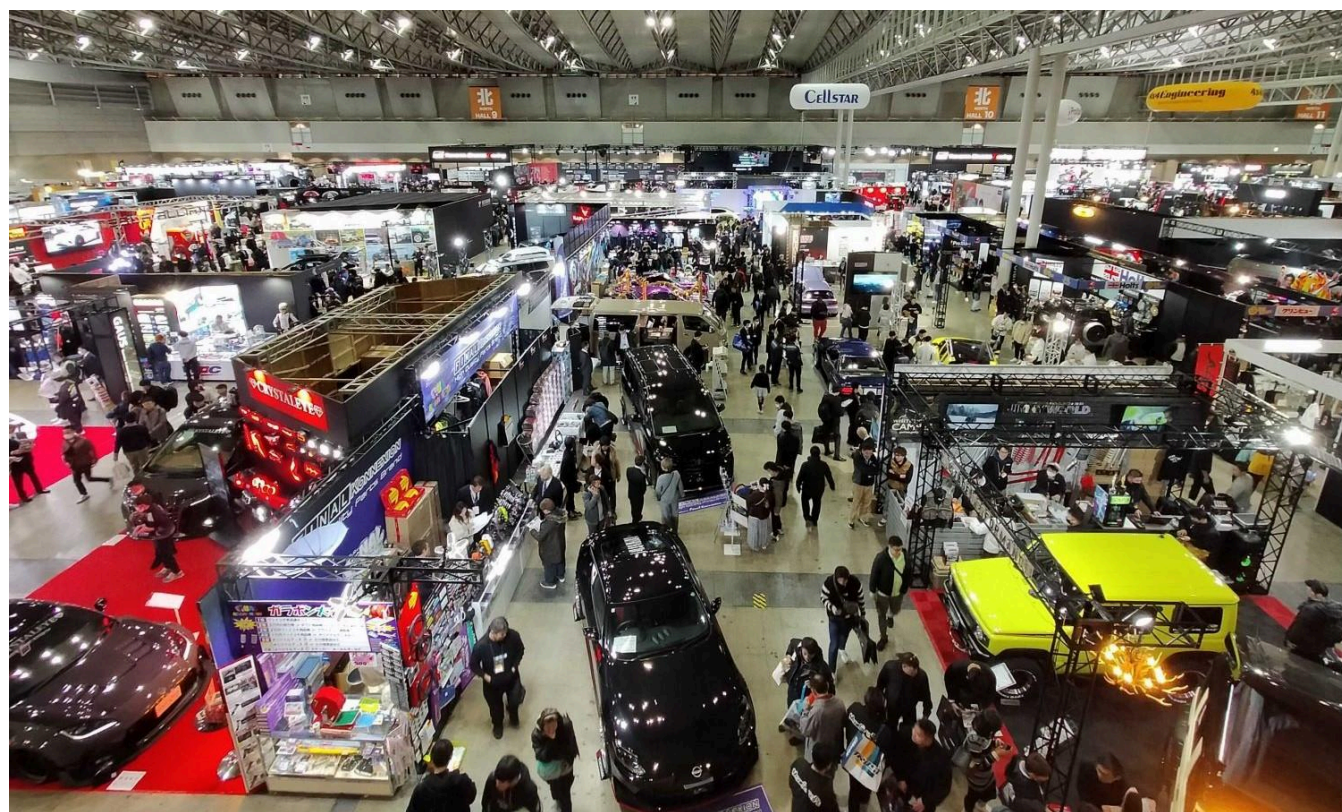
4. 自動車業界のニュース

1) 日産自動車(株)、本田技研工業(株)が経営統合に向けた検討を開始

日産自動車(株)と本田技研工業(株)は昨年12月23日、共同持株会社設立による経営統合に向けた協議・検討を開始することで基本合意書を締結したと発表しました。今後、両社は経

営統合の円滑な実現に向けて統合準備委員会を設置し、集中的に協議を行っていくとしています。

2) 「東京オートサロン2025」に約25万人来場



カスタムカーおよび関連商品の展示会「東京オートサロン2025」が1月10日～12日の3日間、千葉県千葉市の幕張メッセで開催されました。カスタムパーツメーカーや部品用品メーカー等関連企業389社が出展し最新商品を紹介したほか、国内の四輪車メーカー・二輪車メーカーが新型車やコンセプトカーを展示しました。また、トヨタ東京自動車大学校等の整備専門学校も出展し、学生らが手がけたカスタム車両等を展示しました。来場者数は3日間合計で25万8千人にのぼり、前回(約23万人)を上回りました。

3) SPK(株)が(株)ブリッツを子会社化

SPK(株)は昨年11月に自動車用カスタムパーツの企画・製造・販売を行う(株)ブリッツの全株式を取得し完全子会社化しました。

ブリッツはチューニングパーツのブランド「BLITZ」を国内外で展開しています。同社の子会社化により、ブリッツのブランド力や製品開発力と、SPKのグローバルな販売網や調達力を合わせることで相乗効果を高め、グループの事業領域の拡大と事業価値の向上を図るとしています。

4) 2024年の国内新車販売台数は442万台

(一社)日本自動車販売協会連合(自販連)および(一社)全国軽自動車協会連合会(全軽自協)が発表した2024年通年の国内新車販売台数は、前年比7.5%減の442万1494台となり、2年ぶりに前年実績を下回りました。このうち登録車は286万3626台(同5.6%減)、軽自動車は155万7868台(同10.7%減)です。2023年末に大規模な認証不正が発覚し一時新

車全車種が出荷停止となったダイハツ工業をはじめ、トヨタ自動車やマツダ、スバル等、大手カーメーカー8社のうち5社が前年比マイナスとなりました。

5) 日整連・整商連が新春懇親会開催

(一社)日本自動車整備振興会連合会(日整連)および日本自動車整備商工組合連合会(整商連)は1月16日、東京都千代田区のパレスホテル東京で新春懇親会を開催し、会員および関係団体等が出席しました。喜谷辰夫会長が新年のあいさつを行ったほか、来賓として国土交通省の鶴田浩久物流・自動車局長があいさつしました。

6) 日本自動車リサイクル部品協議会代表理事に川島準一郎氏

(一社)日本自動車リサイクル部品協議会は1月22日、東京都港区のホテルインターコンチネンタル東京ベイで開いた定時社員総会において、川島準一郎氏(一般社団法人JARAグループ理事長、(株)川島商会代表取締役)を代表理事に選任しました。佐藤幸雄前代表理事は相談役に就任しました。川島新代表理事は、総会後に開催された令和7年賀詞交歓会においてあいさつし、加盟団体および関連企業の在庫共有システムを連携する「オールリサイクルパーツネットワーク(ARPN)」の本格稼働を今年の優先課題として推進すると明らかにしました。かねてから構築を進めてきた同システムは2月20日から稼働開始予定です。

7) 全自用工、ケミカル工業会が合同賀詞交歓会

(一社)全国自動車用品工業会および(一社)日本オートケミカル工業会は1月23日、東京都新宿区のホテルグランドヒル市ヶ谷で合同賀詞交歓会を開催し、両団体の会員企業および業界関係者が参加しました。また、来賓として経済産業省製造産業局自動車課の戸塚悠二課長補佐、同素材産業課の新田渉課長補佐、総務省総合通信基盤局電波部電波環境課監視管理室の安澤徹室長が挨拶しました。

8) 「第22回国際オートアフターマーケットEXPO2025」2月26日から

「第22回国際オートアフターマーケットEXPO2025」(IAAE2025)が2月26日から28日までの3日間、東京ビッグサイト東5・6ホールで開催されます。部品・用品メーカーや整備・钣金業者をはじめ国内外の自動車アフターマーケット関連事業者約400社が出展し、最新商品・サービスを紹介します。また、経済産業省製造産業局自動車課、国土交通省物流・自動車局自動車整備課、独立行政法人自動車技術総合機構等による講演のほか、出展企業によるプレゼンテーション等も実施されます。

入場には無料の事前登録が必要です。また、会期中に実施される各種セミナーにつきましても全て事前登録が必要です。公式ホームページの「セミナー情報」のページでスケジュール確認、予約が行えます。

入場ご希望の方は、以下の手順通りに事前登録を行ってください。

【事前登録手順】

1. 来場者事前登録ページから情報を入力

下記リンクから「来場者事前登録」ページに入室し、来場者事前登録フォームに必須項目を入

カして送信してください。

[◎来場者事前登録](#)

2. IAAE運営事務局からメールが2通届きます

IAAE運営事務局から「[IAAE2024 事前登録] メール認証のお願い」というタイトルのメール（1通目）が届きます。メールに記載されたURLをクリックすると事前登録が完了します。

3. パスワードを確認しマイページへログイン

さらにIAAE運営事務局から本登録完了メール(2通目)が届きます。この2通目のメールにパスワードが記載されております。メール内にあるURLをクリックし、パスワードを入力して「マイページ」にログインしてください。

4. 来場者バッジを印刷

マイページ内の「来場者バッジ表示」のボタンをクリックし、PDFの来場者バッジを印刷して当日会場へお持ちください。印刷環境がない場合は、スマートフォン等の画面で「来場者バッジ引換券」を入口でご提示ください。

5. 統計情報

国土交通省

[認証・指定工場数及び新規・廃止状況（速報）](#)

[優良認定工場数（速報）](#)

（一社）日本自動車販売協会連合会

[ブランド別新車販売台数確報 2024年12月](#)

（一社）全国軽自動車協会連合会

[2024年12月軽四輪車新車販売台数確報](#)

6. 事務局からのお知らせ

1) 全部協オンラインセミナー第8弾を開催します。

全部協は2月12日（水）17時30分～18時30分に、第8弾となるオンラインセミナー「Web互換品番検索で利益と生産性が向上！！～有効活用事例をご紹介します～」を実施します。

「Web共通互換品番検索システム」の利用を検討している方はもちろん、すでに利用している方にも大変役立つ内容となっておりますのでぜひご参加いただけますようお願いいたします。

2) 「Zen-bukyoToolモール」2月のおすすめ商品のご紹介

「Zen-bukyoToolモール」2月号チラシに掲載するおすすめ商品をご紹介します。下記のリンクからご覧ください。

◎ [「Zen-bukyoToolモール」2025年2月号おすすめ商品](#)

3) 無期転換ルールに係るハンドブック等のご案内

厚生労働省は無期転換ルールに関するハンドブックを作成しました。無期転換ルールと

は、同一の利用者（企業）との間で有期労働契約が5年を超えて更新された場合、契約社員、アルバイト等の有期契約労働者からの申込みにより、期間の定めのない無期労働契約に転換されるルールのことです。

無期転換ルールが規定された改正労働契約法の施行から5年以上経過し、多くの有期契約労働者に無期転換申込権が発生しています。引き続き周知を行う必要があることから、「無期転換ルールハンドブック」及び「無期転換ルールのよくある質問（Q&A）」を作成いたしました。

[○「無期転換ルールハンドブック～無期転換ルールの円滑な運用のために～」](#)

[○「無期転換ルールのよくある質問（Q&A）」](#)

また、昨年度改訂した「多様な正社員及び無期転換ルールに係るモデル就業規則と解説」の内容を基に、「無期転換ルールに対応するための取組支援ワークブック」を改訂し、「多様な正社員及び無期転換ルールに係るモデル就業規則と解説」についても修正しました。

[○「無期転換ルールに対応するための取組支援ワークブック」](#)

[○多様な正社員及び無期転換ルールに係るモデル就業規則と解説](#)

[■無期転換ルールについて | 厚生労働省（参考）](#)

4) 代表者等に変更のあった場合のお願い

組合員の皆様へのお願いです。代表者や本社住所等、全部協にご登録いただいている情報に変更のあった場合は、早急に全部協事務局までご連絡のうえ、変更届を全部協までお送りください。各種変更届の様式は、全部協ホームページ内「各種申込関係」のページからダウンロードできます。何卒よろしくお願い申し上げます。

5) 部工会「事業承継セミナー」のご案内

（一社）日本自動車部品工業会（部工会）は、2025年2月21日（金）に事業承継をテーマとしたセミナーを実施します。中小企業庁および中小機構の方を講師に迎え、第三者への事業譲渡やM&Aに係る方法、親族へのスムーズな事業承継のためのノウハウや留意点、支援制度等について具体的に説明します。

全部協組合員の方も参加可能です。参加ご希望の方は下記URLからお申込みください。参加申込締切は2025年2月7日（金）です。

[◎セミナー詳細および参加申込](#)

6) (株)ブロードリーフのクラウドサービス利用約款に係る覚書について

(株)ブロードリーフ（以下BL社）が部品商向けクラウド版「Partsman.c」（パーツマンドットシー）等を9月24日にリリースしたことを受け、全部協は同製品の使用に係る「クラウドサービス利用約款」および「データベース利用約款」について顧問弁護士によるリーガルチェックを行いました。さらにBL社と協議を重ねた結果、全部協組合員の同製品契約時には、BL社と当該組合員間で固有情報の取扱い等に関する覚書を締結することとし、同社から念書

を受け取りました。組合員の皆様におかれましては、同製品ご契約の際には以上をご理解のうえBL社との交渉にあたっていただきますようお願いいたします。

念書および覚書の内容につきましては下記リンクからご確認ください。

[◎ブロードリーフ「全部協組合員との契約締結時の運用に関する念書」および「クラウドサービス利用約款についての覚書（様式）」](#)

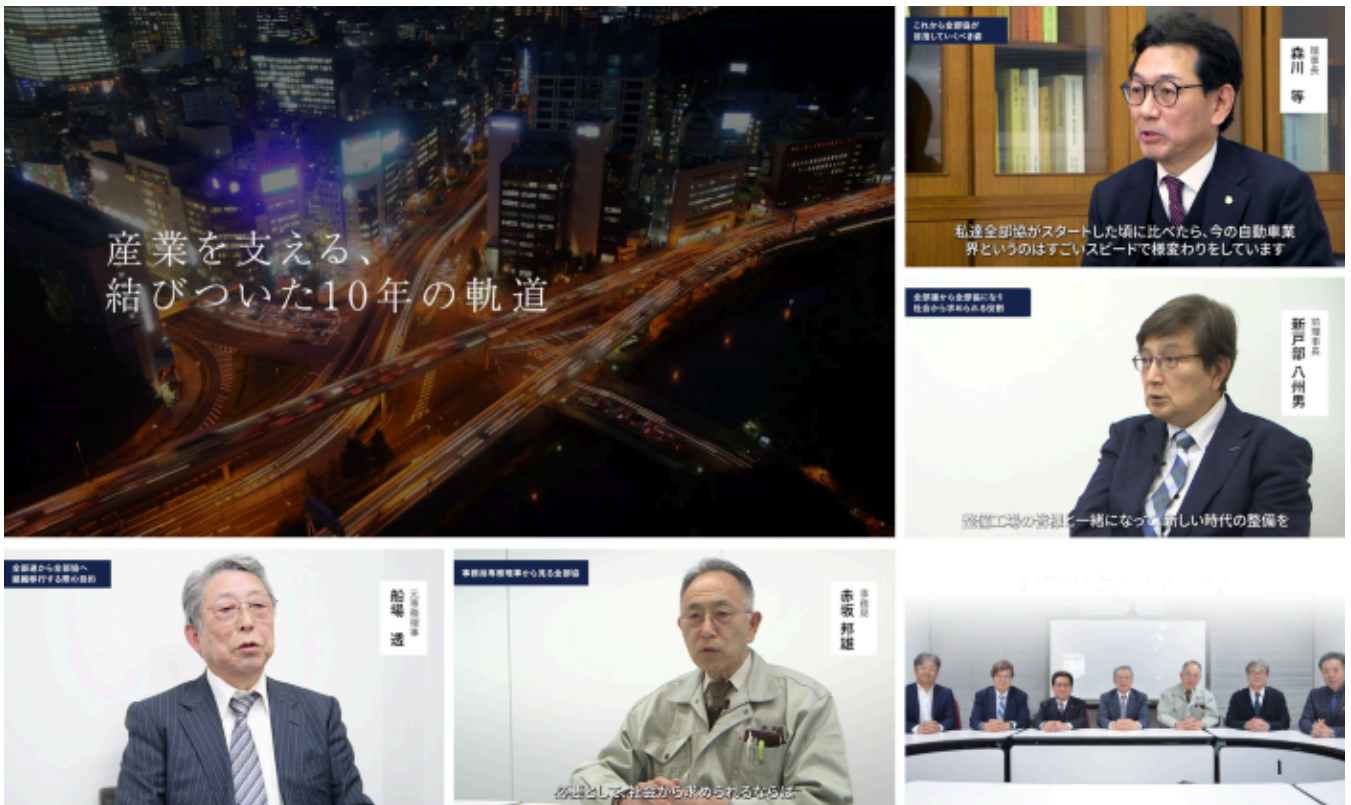
7) ワイパーリフィル価格改定のお知らせ

全部協は共同購入・販売事業として販売しているワイパーリフィルの価格を昨年11月1日から改定いたしました。詳細は下記URLをご確認ください。

[◎価格改定のお知らせ](#)

[◎ワイパーリフィル新価格表](#)

8) 創立10周年記念動画を全部協ホームページから閲覧できます



全部協が創立10周年記念事業として制作いたしました記念動画は全部協ホームページで閲覧できます。またYouTubeの「全部協チャンネル」からショートバージョンの動画も閲覧できますので、ぜひご覧ください。

[◎全部協創立10周年記念動画（ロングバージョン）](#)

[◎全部協創立10周年記念動画（ショートバージョン）](#)

エアフィルターは、 適正に交換しましょう！



エアフィルターには「性能期限」があります

エアフィルターの交換時期は、車の利用環境や利用頻度によって大きく異なりますが、走行を続ければ確実に汚れるので定期的な点検と交換が必要です。



交換の目安は4～5万km毎

(シビアコンディションの場合は2～2.5万km毎)

※詳しくは整備手帳をご確認ください

▲ エアローの清掃では、ろ材に
こびりついた汚れは吹き飛ばせない
ので交換しましょう！

交換時期をむかえたエアフィルターは**新品に交換**しましょう！

 日本フィルターエレメント工業会
協力  全日本自動車部品卸商協同組合

9) 日本フィルターエレメント工業会とエアフィルター販売促進で協力しています

全部協は、日本フィルターエレメント工業会が展開しているエアフィルターの販売促進活動に協力しています。

日本フィルターエレメント工業会では、エアフィルターの素材が不織布中心となっていることによりエアブロー清掃の効果が限定的であること、エアフィルターの汚れがエンジンや燃費に及ぼす悪影響等を広く周知し、適正な交換を呼びかける取り組みを進めています。全部協でも、定期交換の重要性や適正な交換目安について組合員や得意先に広く周知・啓蒙し、潜在需要を掘り起こすことでエアフィルターの販売拡大につなげられるとして、同工業会や卸商社と連携し販促活動を進めていきます。

[◎エアフィルター交換促進チラシ（日本フィルターエレメント工業会製作）](#)

10) Web互換品番検索システム Google Chrome版のご案内

全部協はWeb互換品番検索システムのGoogle Chrome版をリリースいたしました。ご利用の組合員は、下記URLから利用手順をご確認いただきGoogle Chrome版をインストールしてください。互換品番検索システムご利用のすべての端末（PC）で同様の操作が必要です。複数の拠点でご利用の場合は下記の利用手順書を各拠点で共有いただけますようお願いいたします。

[◎Google Chrome版インストール前にお読みください](#)

[◎Google Chrome版互換品番検索システム手順書（1）](#)

[◎Google Chrome版互換品番検索システム手順書（2）](#)

なお、ご不明の点等がありましたら下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】（株）アペックス

電話：097-552-6500

7. 組合員異動報告

1) (株)三和部品（山形県）は、1月15日付で小座間文博氏が代表取締役社長に就任しました。尾形優行前社長は顧問に就任しました。

8. 全部協会議日程

全部協会議・活動日程につきましては、下記のリンクをご覧ください。

[2024年度会議・活動日程](#)

9. メルマガ配信アドレス登録のお願い

このメルマガは、組合員、賛助会員の配信希望登録をいただいた組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆様にお送りしております。

配信をご要望の場合は、全部協ホームページからメルマガの配信登録をお願いいたします。

組合員と賛助会員以外の方は、事務局にて確認のうえ、配信の取り計らいをさせていただきます。

10. 付録

- 1) [「ZEN-bukyoTool モール」利用のQ&A](#)
- 2) [デッドストック品掲載ガイドライン](#)
- 3) [「リパーツダイレクト」広告【PDF】](#)
- 4) その他の広告リンク
[ショーワグローブ株式会社](#)

本メールマガジンへのご意見、ご感想、お問い合わせ

全日本自動車部品卸商協同組合事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-4-2 商工会館ビル6階

Copyright (C) 全部協事務局

[お問い合わせ](#) [配信停止](#)